

授業科目 臨床免疫学実習 I

【担当教員名】 川村 宏樹 他		対象学年	3	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○		○	○	
【概要・一般目標：G10】 抗原抗体反応と生体成分の免疫学的測定法や感染症などの疾患に対する免疫学的検査方法、および検査所見から臨床的意義を理解し、疾患を類推できる技術を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 抗原抗体反応の基本原理を説明できる。 2. 各種検査の原理及び臨床的意義を説明できる。 3. 各種検査の判定が正しくできる。 4. 判定結果から疾患を分類・類推できる。 5. 生体成分の免疫学的測定法を説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-2	測定物質の概念			1-5	講義・実習
3-4	免疫検査の基本技術			1-3	講義・実習
5-6	寒冷凝集反応 I			1-5	講義・実習
7-8	寒冷凝集反応 II			1-5	講義・実習
9-10	オクタロニー法 I			1-5	講義・実習
11-12	オクタロニー法 II			1-5	講義・実習
13-14	免疫比濁法 I			1-5	講義・実習
15-16	免疫比濁法 II			1-5	講義・実習
17-18	アレルギー検査			1-5	講義・実習
19-20	梅毒検査 I			1-5	講義・実習
21-22	梅毒検査 II			1-5	講義・実習
23	実技試験			1, 3, 5	講義・実習
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	臨床検査学講座 免疫検査学第2版	窪田 哲朗 他	医歯薬出版	2013・5,600円＋税	
参考書					
その他の資料	配布資料				
【評価方法】 レポート(20%)、実技試験(20%)、定期試験(60%)。 なお、欠席の場合にはレポート提出を認めない。			【履修上の留意点】 上記「授業計画」の項目が変更になる場合もあるので、予め承知しておいて欲しい。 臨床技術者にとって重要な臨床科目であるため、知識は勿論のこと技能についても習熟すること。		